

都市整備局における都政改革の取組について

都市整備局の役割

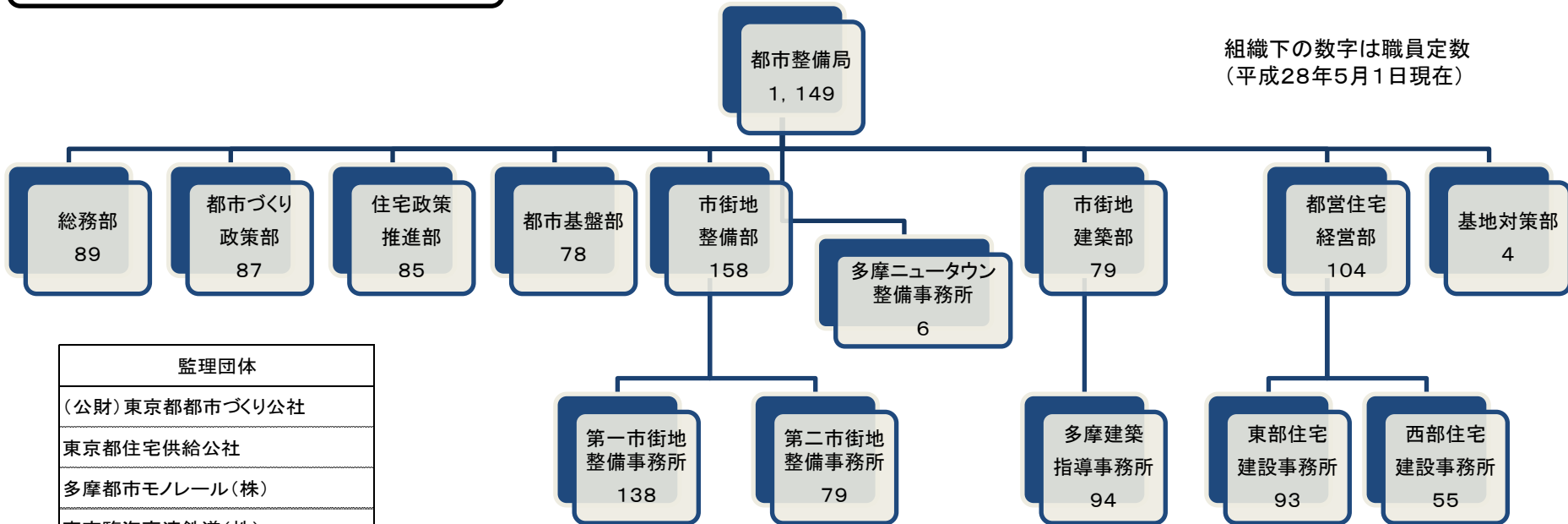
都市づくりの計画から事業実施に至るまで、都民生活に広く関わり、安全で暮らしやすい都市を実現する。

都市づくり政策
住宅政策
都市計画道路
鉄道ネットワーク

区画整理事業
再開発事業
都営住宅の建替・管理

宅地開発、建築物に関わる指導
米軍基地対策

都市整備局の組織



監理団体

(公財) 東京都都市づくり公社
東京都住宅供給公社
多摩都市モノレール(株)
東京臨海高速鉄道(株)
(株) 多摩ニュータウン開発センター

自律改革に係る検討経過

- 9月1日 第1回都政改革本部会議
- 9月5日 都市整備局改革本部設置決定
- 9月6日 自律改革の取組について、局内に依頼
- 9月9日 局議にて都市整備局改革本部の取組を確認

全職員に対し、本部長、副本部長より自律改革についてメールを送付

- ・一人ひとりがリーダーとして、実のある改革となるよう進めていく
- ・今まで仕事をやってきた中で、「こんなことをしてみたかった」、「こんな進め方をしてみたら良くなる」、「ここを変えてみたら」などと感じてきたこと、考えていることを提案してほしい

- 9月13日 職員よりのべ469件の提案

引き続き職場からの提案を常時受付

都市整備局改革本部の設置

- 都民にとってより良い施策を実現するために以下の論点と視点で改革を推進
- 職員が全員参加の意識で組織運営改革に臨める組織風土を醸成

改革の視点

- 1 都市整備局の組織目標を再度確認し、効果的に達成する。
- 2 納税者である都民にとって、満足度の高い組織運営を行う。
- 3 納税者である都民にとって、アクセスしやすい組織運営を行う。
- 4 組織の長所、短所をよく知り、長所は伸ばし、短所は是正する。
- 5 組織運営の改革は、可能な限り全員参加のもと進める。
- 6 トップ自らが、組織運営の改革の推進役となる。
- 7 あらゆるものは陳腐化するおそれがある。防ぐためには不断の改革が必要

改革の具体的な取組

- 1 わかりやすい都政の実現
- 2 都民サービスの向上
- 3 より良い仕事を可能とする局運営
- 4 ライフ・ワーク・バランスの実現
- 5 防災対応力の向上

都政改革の主な取組

1 わかりやすい都政の実現

工事内訳書の都民への情報提供

取組

- 現在、工事内訳書の公表期間は、契約締結後約1ヶ月に限定されていることから開示請求で対応している。
- 今後契約締結する、予定価格250万円を超える工事案件について、都民の利便性を向上させるよう積極的な情報提供を行う。

スケジュール

- 1月までに実施方法(情報提供期間、場所等)について検討、整理した上で、関係局と調整
- 調整がつきしだい速やかに実施

効果

- 積極的に情報提供することで、開示請求件数が減少
(平成27年度都市整備局 開示請求件数917件 うち工事内訳書269件)
- 1回の来庁で、その日のうちに情報を得ることができるため、都民サービスの向上につながる。
- 開示請求の手続きも不要になり、都民にとって情報が得やすくなるとともに、職員の事務の効率化が図れる。

局事業に関する積極的な情報の提供

取組

【会議資料等の公開】

- 住民説明会等で使用する資料について、可能な限り説明会終了後にホームページにも掲載
- 政策立案を目的とする会議は、原則公開することとし、ホームページで事前に開催日時・場所等を公表し、開催後には議事録等を可能な限り公開

【都民向け情報の効果的な発信】

- 都営住宅工事共通仕様書(H28.10改定予定)や耐震助成事業や耐震マーク等の制度に関する要綱などを局ホームページにて公開

スケジュール

- 10月より取組に着手、順次実施

- 都営住宅工事共通仕様書については、10月実施、要綱等については調査、整理の上、年内を目途に実施

効果

- 誰もが都市整備局の事業に関する情報の取得について、これまでよりも容易になり、事業への理解を一層深めることが可能となる。

わかりやすいホームページの作成

取組

- 問い合わせ先や申請先が複数部署にわたるものや、申請フローがわかりづらいものについて、都民や事業者から見たわかりやすさという観点(視覚に訴える画面づくり・専門用語の解説等)から検証を行い、ホームページの改善につなげる。
- 担当者以外の職員からもホームページの見やすさ、分かりやすさを中心に意見を募り、担当部署にフィードバックするなどして、都民から見て分かりやすく、必要な情報が得られるものになるよう検討し、見直しを行う。
- 良い点については、局内でも情報共有することで次の改善に繋げていく。

スケジュール

- 10月から12月に、現状把握、意見聴取及び実現可能な改善策の検討を行い、順次改善を行い、年度末までに実施



効果

- 都民が必要な情報について、ホームページで容易にたどりつけるようになり、わかりやすく提供することで、局事業を理解していただくことが可能となる。

2 都民サービスの向上

窓口事務の改善

取組

- 2020オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、障害者や高齢者などへの合理的配慮について、職員の意識啓発・知識の向上を図って、窓口対応に反映

スケジュール

- 10月より国などから対応例を収集、メールマガジンなどで全職員に周知、啓発していく

窓口レイアウト・案内表示の見直し

取組

- 相談の受付窓口において、高齢者など来庁者が着座し、落ち着いて相談申込みを行えるよう受付カウンターのレイアウトを見直し
- 申請者、閲覧者数にあわせた記載台を設置
- 誰にでもわかりやすい案内表示の工夫を実施

スケジュール

- 10月より検討を開始、11月にレイアウト見直し、記載台の設置を実施(本庁)、案内表示については年内を目途に改善を実施

効果

- 全ての方が、わかりやすく、スムーズに、気持ちよく都庁を訪れることができる。

3 より良い仕事を可能とする局運営に向けて

庁内掲示板等を活用した情報共有・活用

取組

- 国からの技術的助言等業務に関する情報を庁内掲示板に掲載し、職員が共有すべき情報を共有し、業務に活用。併せて情報の蓄積・見える化を図る。

スケジュール

- 10月に掲載すべき情報や掲示板の仕様を検討、11月以降準備ができたものから順次実施

部署を超えた書籍等のシェアリング

取組

- 各部署で保有する貸出可能な書籍・新聞・雑誌、情報機器等について、リストを作成し、掲示板で情報共有し、相互に融通することで、事務の効率化、経費の削減を図る。

スケジュール

- 10月中に掲示板の項目や使用ルールを定め、11月末までに貸出リスト及び掲示板を作成。12月より情報共有、貸出を実施

効果

- 掲示板上で職員が共有すべき情報、他部署が保有する情報など、職員が多様な情報に触れること、また早くたどり着くことができ、業務への活用・反映が期待される。

本庁・事務所ファイルサーバの統合

取組

- 現在、部・所ごとにファイルサーバを設置、管理。担当者の負担、管理上の課題が多いため、本庁においては各部のファイルサーバを統合し、局で一括管理していく。
- 将来的には、事務所も統合の方向で検討していく。

スケジュール

- 事業所のファイルサーバのリース状況や都庁と事業所間の回線への負荷状況などを調査、検討
- 本庁については総務局と協議を図りながら年度内実施を図るとともに、事務所の統合についても検討していく。



効果

- 管理コストや経費の節減、事務の効率化を図ることができる。

4 ライフ・ワーク・バランスの実現

超過勤務縮減の取組

取組

- 会議や打合せにおいて、予め時間を限定し、会議等の効率化を徹底する。
- Outlookを活用し、組織を超えてスケジュール管理の共有化を進める。
- 課、各担当においては、毎朝、声かけを行い、職員同士スケジュールを確認し、計画的に仕事を進めていく。
- 業務の進捗状況の確認、必要に応じてフォロー又は事務分担の見直しを行っていく。

スケジュール

- 10月以降各部署に呼びかけ、対応可能なところから実施
- 職員同士のスケジュール確認については、すぐに取り組む。



効果

- 「業務の効率化」や「時間」に対する意識が高まるとともに、スケジュールの共有化、声かけによりコミュニケーションが図られ、風通しの良い職場が実現

5 防災対応力の向上

実践的な防災訓練の実施

取組

- これまで局の防災訓練では、安否確認・非常参集訓練や応急対策業務説明などを実施してきたが、熊本地震への対応(応急危険度判定員等の派遣)などにより蓄積されたノウハウを踏まえ、より実効性の高い防災訓練を実施する。
- 発災内容などをブラインドにした初動体制の実践を行う。

スケジュール

- 年度内を目途に、訓練内容の概要、手順を整理し、まとめる。
- 次回以降、局防災訓練時に実施していく。



効果

- 発災時における組織や個人の役割を再認識することができる。
- 実践的な訓練の実施により、発災時の的確な対応をとることができる。